

令和7年度5月期古賀市社会教育委員の会議 議事録

【会議名称】 令和7年度5月期古賀市社会教育委員の会議

【日時】 令和7年5月23日（金） 18時30分～20時00分

【場所】 リーパスプラザこが交流館 301洋室

【内容】 ・研修「社会教育委員の役割について」
・令和6年度古賀市社会教育委員活動報告書について
・令和7年度の取組検討

【出席委員】 園委員、橋爪委員、安部委員、石川委員、梅谷委員、江口委員、
大賀委員、倉掛委員、坂崎委員、藤田委員（以上委員10名）

【欠席委員】 なし

【事務局】 課長、職員2名

【傍聴者数】 0名

【配布資料】

- ・資料1 古賀市生涯学習笑顔のつどいについて(概要)
- ・資料2 笑顔のつどい まとめ
- ・資料3 令和7年度社会教育委員の定例会議 開催日程(案)

2. 研修「社会教育委員の役割について」

福岡教育事務所 社会教育室 社会教育主事 豊田 勇氏

(豊田さん)

[資料に沿って説明]

(園議長)

社会教育委員から質問やご意見等がありますか。

(倉掛委員)

学校教育と社会教育がはっきり分かれるよりもボーダーレスの方がこの先いいと今のお話を聞きながら思った。糟屋地区の取り組みを聞いて、他の地区でもやはり地域の課題は一緒だと思った。社会教育委員が課題を取り上げて形にしていき、地域を動かすことまでできたら素晴らしいと思う。

(豊田さん)

国は地域学校協働活動とコミュニティスクールは目的が違うので一体化する取り組みがある。古賀市においても市の課題は何かということから協議することで、学校・地域に共通した目標が見え、より進むと思う。

(梅谷委員)

保育士や介護の経験から、社会教育のどこかにピンポイントを当て過ぎてしまうのではなく、やはり社会はトータルで様々な生き方をしている人に寄り添うことが大切だと思う。どうしても子どもたちの課題に焦点が行きがちだが、高齢者の方は最終的には自分の喜びとしてラストステージを迎えたいので、やりたくないことをやりたいと思っていない。最期をどう生きるかにも焦点を当てていけないと思う。

(豊田委員)

社会教育は幅広いところをカバーしているので、学校教育以外の学習はほとんど社会教育ではないと言われることもある。今は生涯学習の理念も社会教育に組み込まれているの

で、そこにスポットを当てると新たな課題も生まれるのではないかと思った。話の中であったようにやりたくてやっている方はいいけど、しなきゃいけないからしている状況は地域学校協働活動でもよく聞き、トラブルが起きたり、推進が進まなかったりするケースもある。共通した目標を持つことが大切だと思う。教職員も地域の人の一人という意識が大切だと思う。

(園議長)

学校教育と社会教育の 2 つの区切りがあると思うが、社会教育として高齢者の取り組みは何か例がありますか。

(豊田委員)

県内でいくと筑豊に「高齢者大学」という高齢者の方が学校に行けるようなシステムがある。学校の空き教室で自分の生涯学習を進めており、高齢者の学びの場や、孤立を防ぐ役割がある。

3. 協議事項

(1)令和 6 年度古賀市社会教育委員活動報告書について
事務局より資料の説明

(2)令和 7 年度の取り組み検討

(園議長)

令和 7 年度の取り組みに向けて、それぞれ関心があるトピックを複数付箋にご記入いただき、ホワイトボードに貼ってグループ分けをしていきたいと思う。3 分ほど時間を取り、各委員より発表願う。

(橋爪委員)

自分は学校教育と社会教育で子どもたちと関わっているので、子どもを真ん中にした地域のつながり、社会体育が担う地域づくりの役割、生涯スポーツについての 3 つをトピックとしてあげた。

(江口委員)

スポーツの組織がどんなふうになっていくのか、そして、公民館の活動はどんなことがあっているのか知りたい。子ども会がなくなってきているので、どんなふうになくなっていくのかと関心を持っている。

(梅谷委員)

私が介護保険の課題に関わっていく中で感じたことですが、

1つ目が、誰もが歩いて行ける、地域の身近なところに楽しい活動があると素晴らしい。皆さんに選ばれる楽しい活動があるといいと思う。

2つ目が、100年時代がやってきていて、死ぬまで楽しい古賀にしたい。若い人たちが地域離れをしているので、若い人たちが引っ越してきたときにどうするかが課題になっている。子どもと一緒に参加できるような取り組みを地域で工夫していく必要があると思う。

3つ目が、デジタルが進めば進むほど、本などアナログの良さをどう伝えるか。

4つ目が、つどいの場の維持。PTAや子ども育成会など役員になれないからやめるという方がいらっしゃることによって、活動が衰退していくのではないか。

(石川委員)

健康づくりと地域とのつながりだと思う。昔は育成会とのつながりがあり、自分自身も地域に育ててもらった記憶がある。高齢化社会になり、健康志向な方も多いと思う。古賀市も高齢者の健康に関する取り組みがもっと取り組みがあってもいいと思う。

以前はよく、ご高齢の方が、昔の遊びなどを教えていた。昔ながらの良さも子どもたちに伝えていきたいと思う。

(安部委員)

1つ目が、公民館活動をもっと知ってもらう。子ども食堂に行ってみると年代関係なく、関わっている。

2つ目が、スポーツ活動。古賀市の施設がもっと利用しやすくなるといいと思う。

3つ目が、読書活動の活性化。今はスマートフォンの普及により、読書の機会が減っている。文字から想像して何かを起こしてみることも大切なので、例えば、古賀を読書のまちにしていくのはどうか。

4つ目が、古賀市の自然や歴史や風土。調べてまとめたものを冊子にして、何かの活動につなげていく。もっと古賀独自の特色があってもいいと思う。

5つ目が、いろんな年齢層の方を含めて古賀市未来会議を作ってみてはどうかと思った。

(藤田委員)

1つ目が、地域に開かれた学校づくり。知らない世代にももっと周知していきたい。

2つ目が、子どもだけにスポットを当てるのではなくて、高齢者と子どもたちが一緒に集まれる居場所づくりに関心がある。

以前子ども食堂に参加したときに子どもが多く、高齢者の方はいらっしゃらなかったのも、子どもだけでなく、食を通じて皆さんが集まれる場に変えてみていいと思う。

(坂崎委員)

今自分がやっていることと、現在準備中のことですが、

1 つ目が、余裕教室といって、実際に古賀北中学校の地域開放教室の 1 室を大規模改修後に、美術やデザイン関係の図書館として活用できるように準備している。

2 つ目が、子ども食堂を学校で開催する準備を今している。古賀市は人口に対して子ども食堂が少ないと思う。

3 つ目が地域学校協働活動。青柳小・古賀東中学校運営協議会委員をしているが、なかなか学校が地域に向けて開かれるのは、実際難しいと感じている。

4 つ目が、通学合宿。なかなか広がらないが、子どもたちが主役で、古賀市でも推奨されているので広めていきたい。

5 つ目が、公民館。若い世代の人の利用が特に少ないので、利活用に取り込んでいきたい。自治会に入らなくても地域コミュニティを運営できるなど、やっていける工夫を考えていきたい。特に子どもたちにとっては育成会もなくなり、活動を中止してる前提で新しい利活用の方法を考えることも必要だと思う。

(倉掛委員)

1 つ目が、各中学校で地域貢献部。小学校で 10 年間、放課後の子どもの居場所づくりに携わっているが、卒業生が中学生になったときに、ボランティアとして夏休みの宿題教室に来てくれた。その子からボランティアをしたいが中学校にボランティア部がないので作ってほしいという意見を聞いた。例えば、各中学校で地域貢献部を作っていただき、社会教育委員が参加してもいいのではないかなと思う。

2 つ目が、公民館、小学校のデイサービス化。地域の公民館で高齢者が花植えや季節の飾りつけの手伝いなどをして、デイサービス化したらいいと思う。

3 つ目が、学校遊具。子どもの発達にとってもいいので、学校にもわくわくする遊具があるといい。

4 つ目が、学校図書館。近年うまく活用されていないと思う。遊具が消え、図書館が使いづらくなると学校は勉強するだけの場になってきている。先生たちの働き方と一緒に考えていかなければいけない。学校の中は先生の意見が中心で子どもファーストが後回しになっている部分があるので、もっと考えていかなければいけないと思う。

(大賀委員)

1 つ目が、今学校で読み聞かせをしているが、読書活動の活性化が気になる。

学校でも読書時間が減ってきているので、もう少し読書活動を大切にしてほしい。

2 つ目が、公民館の居場所づくり。去年の夏休みに初めて寺子屋を地区でやってみた。はじめたときに地域のご高齢の方たちや子ども会、育成会や地域に住んでいる先生方が協力してくださった。豚汁やおにぎりを作って振る舞い、和やかな会ができた。もっと寺子屋を盛

り上げていけたら、子どもたちだけでなく高齢者の居場所づくりにもつながると思った。

(園議長)

皆さんの意見とだいたいと同じなので、トピックだけお伝えします。高齢者の健康づくり、健康に関する食育、高齢者が元気に過ごすこと、子どもの遊び場が少なくなって子ども会活動が衰退していること、健康づくりやスポーツがどのくらい広がっているのか、外国の方が増えているので、どんなふうに関わっているのか、図書館活動、読み聞かせなど盛んなところが衰退してきていることが気になっている。

いろんなトピックが出てきたので、次回、整理するところから始めたいと思う。学校教育と家庭教育の2つの流れがある中で分けていくと整理できると思う。今日はたくさんの意見を出していただき、ありがとうございました。

4. その他

(2)事務局より

資料3、4、5の説明

(3)次回開催日程

6月 27 日(金) 18 : 30 ~ 会場: 302洋室